

全日本出場は29年連続49回目 大記録更新中

経スポ

ハンド部 29年連続全日本へ



ハンドボール部が今年もやってくれた。関西の強豪校が集う関西学生ハンドボール連盟1部リーグ戦を見事に勝ち抜き29年連続49回目の全日本学生ハンドボール選手権大会出場を決めてくれたのだ。

しかしながら、昨年の同大会でベスト8に進出した本学ハンドボール部であっても、その道のりは決して容易なものではなかった。

全日本大会出場に向けての天王山決戦はいきなり、9月14日に本学で開催されたリーグ戦第2戦で迎えた。対戦相手は本学と同じく全国大会連続出場記録を持つ桃山学院大学。本学が全日本大会に出場するためにはリーグ戦の成績で桃山学院大学より上いかなければならず、お互いこの直接対決はどうしても落とせない一戦であった。

前半、本学が怒涛の攻めを展開し12対9で折り返す。そして後半、桃山学院のさすがの反撃に一時は逆転を許してしまうが本学も粘りのディフェンスで試合の流れ

は決して渡さない。一進一退の攻防が続く中、試合終了直前に耐え抜いた本学がカウンタースタートで2連続得点！21対19で振り切った。

その後の立命館大学戦では前半リードを許してしまっただものの、耐え抜いて後半に逆転。24対23で勝利！更に続く京都産業大学戦も前半リードを許してしまっただものの後半に逆転し立命館大学戦と同じスコアの24対23で勝利！これにより、本学が桃山学院大学より上位になることが確定し、29年連続49回目の全日本学生ハンドボール選手権大会の切符を手にした。

福井監督に今年のチームの特徴と全国大会の展望を聞いてみたところ「ディフェンスのチーム。ディフェンスから流れをつくりこちらのペースに持ち込みたい」とのこと。試合でも田村優也(経済3年)を中心とした鉄壁のディフェンスから相手チームのリズムを崩し、一気に反撃に転じ、得点するシーンが何度も見られた。一方、オフenseでは、リー

グ戦得点ランキングで5位にランクインしている酒井翔一朗(人間科学4年)を中心とした多彩な攻撃が持ち味だ。また、今年のチームは、逆転につぐ逆転で僅差の戦いを勝ちあがって来たことも特徴である。最後まであきらめない精神力は全日本大会に出てくる強豪校が相手であっても大きな武器になることは間違いないであろう。

もう一つハンドボール部で忘れてはいけないのが、昨年の全日本大会で全国ナンバー1とも言われた学生保護者、関係者、OBが一体となった応援である。温かく力強い応援は選手たちにとって大きな励みになるであろう。

全日本学生ハンドボール選手権大会は11月22日(土)から岐阜メモリアルセンターで開催される。本学の一回戦は同日15時10分からの仙台大戦。まずは本学の総合力で初戦を突破し、昨年巻き起こした大経大旋風を再び全日本の大舞台で見せたい。

発行：大阪経済大学 経大

